



本の紹介・POPの作成にチャレンジ

第5期
子ども司書講座
新聞
第6号

図書館は、たくさんの人に本を読んでもらうため、いろいろな工夫をしています。

特に興味をひくのは、本の案内や紹介です。本屋さんに行くと、新しく発売した本や店員さんのおすすめ本のそばに、その本を紹介する「小さな広告」があります。これはポップと呼ばれるもので、その本の内容やおもしろさをお客さんに伝える役割があります。店員さんがキャッチコピー（目をひくような一言）を書きしたポップは、お客さんに大人気！本が売れる、売れないを左右することもあります。図書館でも同じようにポップを作って本の紹介をすることがあります。

1. 図書館の案内
フェア、イベント、新刊本などの情報を伝えます。
2. 本棚を活かす楽しくする。
飾り付けなどに利用することもあります。
3. 読書案内
本そのものの案内です。今回みなさんがチャレンジしたものです。
本を紹介するポップは作るだけではないけません。どんな人におすすめなのか、どんな面白さがあるのか、興味をひくようなものをつくりまします。

POPの作り方！その1:ポップに書きこむ内容

①書名・著者名・出版社	どの書籍の案内なのかわかるように、必ず書きましよう。
②どんな人におすすめか	ある特定の人に強く伝えたい場合に書きましよう。
③内容紹介	特徴や簡単な物語案内を書くといいですよ。
④感想	おすすめする理由を相手に伝わりやすい言葉で書こう。
⑤キャッチコピー	目をひくような一言を書いてみよう。 例：「笑える本」「衝撃のラストにびっくりする！」
⑥その他	イラストを書いてみよう。ペンネームも忘れずに！

ポップを作るためには、紹介したい本が決まらないと作れません。本は、「子ども司書講座第4回目」で子ども司書に選んでいただいた本やオスヌメの本を使います。まずは、どんなことに注意してポップを作るのか見てみましょう。
最初はポップにどんなことを書いたらいいかまとめる作業をします。次に興味をひくようなキャッチコピーを考えます。最初は迷ったり悩みながら作業していましたが、途中からは夢中になって作っていました。

その2:キャッチコピーを考えてみよう

①ターゲットを明確に！	例：先輩も、このシリーズで感動した！！
②イメージしやすい！	例：いつの間にか解決しちゃう！！得する1冊！！
③ポイントを明確に！	他にはないっておきのキメ言葉を考えてみよう！

